

宿利理事長開会挨拶

お集まりの皆様、おはようございます。このたびは、IHRA 国際フォーラム 2018「複雑さを増す世界情勢と変革への挑戦 ～過去、現在、そして未来へ～」に、海外及び国内各地から多数の皆様方のご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

2014 年に東京で開催した第 1 回フォーラムおよび 2016 年に京都で開催した第 2 回フォーラムを通じ、普遍的な課題として示されたのは、高速鉄道によって経済・社会・人々のライフスタイルを変革し、国や地域を大きく創り変えるためには、安全で信頼性の高い高速鉄道輸送の実現と同時に、人材の育成、高速鉄道とスムーズに接続する都市交通ネットワークの整備や都市開発、沿線地域の開発など、高速鉄道を真に社会に活かすための長期間にわたる、絶え間のない「変革への挑戦」が必要であるということでした。

今回の第 3 回 IHRA 国際フォーラムでは、世界各国からご出席いただいた政府や議会の要人の皆様、経済界や鉄道・交通分野の第一人者の皆様、主要なメディアの編集委員など各国・各界のリーダーの皆様方とともに、複雑さを増す今日の世界情勢の中で、いかにしてこの普遍的な課題である「変革への挑戦」をし続けるかについて議論し、考

察したいと思います。

まず、インド太平洋地域の政治、経済、外交、安全保障、そして域内主要国の成長戦略を展望し、次に、19 世紀後半に近代国家の建設に乗り出した日本が、先進諸国から技術や経験を学び、これを吸収して自国の鉄道人材を育て、技術集団を作り上げて、世界に先駆けて高速鉄道に挑戦しつづけた軌跡を辿ります。

その後、現在、国内初の高速鉄道の整備を進めているインドに焦点を当て、強力な政府のリーダーシップのもとで、良質なインフラを整備し、産業と技術革新の基盤をつくり、ダイナミックな社会変革を目指す戦略と取組みについて議論します。

最後に、世界の特色ある高速鉄道の戦略と取組みを採り上げ、高速鉄道の導入及びその発展・進化のために必要な不断の「変革への挑戦」の多様性と普遍性について考察します。

古来、海外と日本との様々な交流・交易の玄関として発展してきた九州の地で開催される IHRA 国際フォーラム 2018 が、世界の高速鉄道のさらなる発展の一助となることを心から祈念して、主催者の挨拶といたします。本日は誠にありがとうございます。